2026 年 3 月 16 日

各 位

株式会社北洋銀行

お客さま 33 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。

今般、2026 年 2 月に、下記の通り、お客さま 33 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道の SDGs 推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。

近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社Ａｍｏｎ
代　表　者	代表取締役　蝦名　真弓
所　在　地	北海道札幌市中央区南４条西３丁目２番地６　ＬＣ拾六番館４階

会　社　名	合同会社イーフロンティア・システムズ
代　表　者	代表社員　辻　浩樹
所　在　地	北海道紋別市緑町４丁目１７－１８

会　社　名	有限会社五十嵐塗装工業
代　表　者	代表取締役　五十嵐　真佐紀
所　在　地	北海道帯広市西１２条南２９丁目２

会　社　名	株式会社板津建築事務所
代　表　者	代表取締役　板津　博之
所　在　地	北海道札幌市南区澄川１条３丁目４－１１

2026 年 3 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社ＵＯＮＯＳ
代　表　者	代表取締役　園生　貴之
所　在　地	北海道釧路市新栄町１４番１０号

会　社　名	合同会社ウミネコ
代　表　者	代表社員　宮嶋　正寛
所　在　地	北海道札幌市東区本町１条１丁目１番１号　鹿内ビル３階

会　社　名	株式会社Ｎ’ｓ　Ｃｏｍｅ　ａｌｉｖｅ
代　表　者	代表取締役　船田　菜都美
所　在　地	北海道札幌市中央区南５条西６丁目９番地３　ニュー桂和ビル９階

会　社　名	エンコネクト株式会社
代　表　者	代表取締役　水谷　好成
所　在　地	北海道札幌市中央区南１条西１０丁目４－１４８　加森ビル６－３Ｆ

会　社　名	有限会社大村産業
代　表　者	代表取締役　大村　大助
所　在　地	北海道旭川市神居６条６丁目２番１２号

会　社　名	株式会社川端工務店
代　表　者	代表取締役　川端　猛
所　在　地	北海道札幌市手稲区前田６条８丁目２－１０

会　社　名	株式会社久保農園
代　表　者	代表取締役　久保　昌義
所　在　地	北海道上川郡比布町緑町３丁目８番２１号

会　社　名	株式会社クリエイティブネットドア
代　表　者	代表取締役　金原　高明
所　在　地	北海道札幌市中央区大通西５丁目１１番地　大五ビル

2026 年 3 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社コレクト
代　表　者	代表取締役　太田　陽介
所　在　地	北海道旭川市神楽岡６条６丁目２番２号

会　社　名	有限会社札幌ガラスサービス
代　表　者	代表取締役　原田　茂喜
所　在　地	北海道石狩市花川南８条２丁目１９２

会　社　名	株式会社札幌情報ソリューションズ
代　表　者	代表取締役　佐々木　結樹
所　在　地	北海道札幌市中央区南１条東２丁目２番地５　ＳＢ大通東ビル３Ｆ

会　社　名	GENIXY 株式会社
代　表　者	代表取締役　工藤　正広
所　在　地	北海道札幌市中央区南５条西５丁目９番１号

会　社　名	株式会社 Spera
代　表　者	代表取締役　犬伏　駿介
所　在　地	北海道釧路市末広町９丁目２番５号　ブリック釧路末広町２０１

会　社　名	株式会社セイテック
代　表　者	代表取締役　渡部　静
所　在　地	北海道室蘭市八丁平４丁目４５番１４号

会　社　名	株式会社ナリーズコーポレーション
代　表　者	代表取締役　成田　智哉
所　在　地	北海道札幌市北区拓北６条２丁目２番３号

会　社　名	有限会社西岡ショッピング
代　表　者	代表取締役　有田　照直
所　在　地	北海道札幌市豊平区月寒東４条１５丁目２－１４

2026 年 3 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社日道工業
代　表　者	代表取締役　熊木　鉄兵
所　在　地	北海道札幌市白石区北郷８条８丁目８－１７

会　社　名	ハッピーハウス有限会社
代　表　者	代表取締役　菅野　友二
所　在　地	北海道紋別市南が丘町７丁目３９番３０

会　社　名	株式会社Ｂ・Ｍ・Ｇ
代　表　者	代表取締役　嶋田　昂人
所　在　地	北海道札幌市北区篠路町篠路４４４番地３３

会　社　名	株式会社ビューティフルジャパン
代　表　者	代表取締役　西井　一広
所　在　地	北海道札幌市豊平区豊平５条３丁目２番２７号 ＳＡＫＵＲＡ－ＧＡＫＵＥＮＭＡＥ

会　社　名	株式会社ファルムコンサルティング
代　表　者	代表取締役　宮井　佑輔
所　在　地	北海道札幌市中央区北５条西１１丁目１５－４ ＢＹＹＡＲＤビル３Ｆ

会　社　名	株式会社ホクト造園
代　表　者	代表取締役　渡邊　充正
所　在　地	北海道札幌市北区麻生町６丁目１４－１４

会　社　名	株式会社松原特殊農機
代　表　者	代表取締役　松原　啓隆
所　在　地	北海道河東郡音更町木野大通東１３丁目３－５

会　社　名	有限会社室蘭モータース商会
代　表　者	代表取締役　楠美　朋宏
所　在　地	北海道登別市栄町３丁目１６番地７

2026 年 3 月 16 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	合同会社裕晴商事
代　表　者	代表社員　切金　晴人
所　在　地	北海道札幌市豊平区西岡５３８番１２

会　社　名	株式会社リプロ
代　表　者	代表取締役　田澤　優祈
所　在　地	北海道札幌市東区北１０条東１５丁目１－２３

会　社　名	有限会社ろまん亭
代　表　者	代表取締役　新居　浩
所　在　地	北海道札幌市南区澄川４条２丁目９番１

会　社　名	株式会社ワコードライセンター
代　表　者	代表取締役　成田　友紀雄
所　在　地	北海道紋別市南が丘町３丁目５－３４

会　社　名	株式会社ＯｎｅＷｏｒｌｄＰｒｏｊｅｃｔ
代　表　者	代表取締役　水野　翔太
所　在　地	北海道中川郡幕別町札内みずほ町１４３番地１０４

以　上

株式会社Amon
Sustainability Commitment

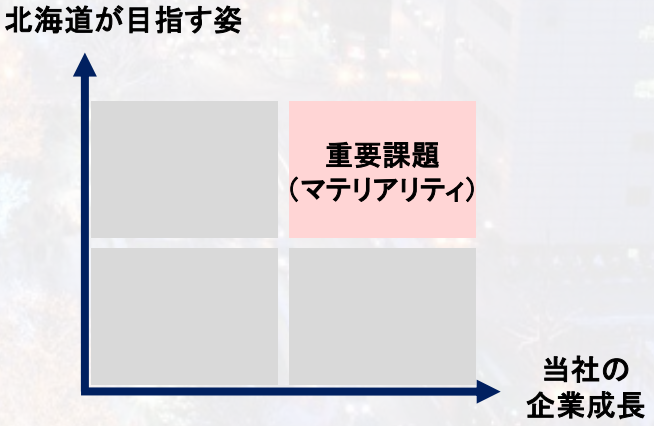
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



合同会社イーフロンティア・システムズ
Sustainability Commitment

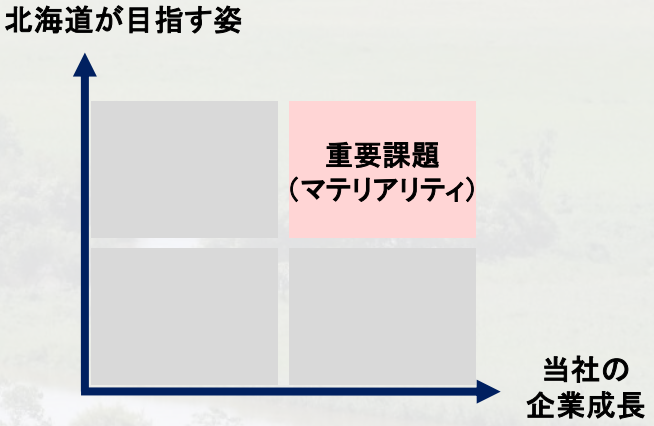
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社五十嵐塗装工業
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 13 日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1.　基本情報

企業名	有限会社五十嵐塗装工業	
代表者名	五十嵐 真佐紀	
所在地	北海道帯広市西 12 条南 29 丁目 2-6	
資本金	1,000 万円	
従業員	12 名（2026 年 2 月現在）	
業種	塗装工事業	
事業内容	・　建築塗装、鋼橋塗装工事 ・　湿式外断熱工事	
沿革	1975 年	個人事業として五十嵐塗装を創業
	1980 年	帯広塗装工業協同組合に加入
	1990 年	法人化し有限会社五十嵐塗装工業設立
	1999 年	日本塗装工業会に加入
	2002 年	資本金を 1,000 万円に増資
	2011 年	2 代目として五十嵐真佐紀氏が代表取締役就任
		現在に至る。

2.　経営のモットー

経営のモットー

「笑顔」と「信頼」

「笑顔」ある対応と、「信頼」される技術をお客さまに届け続けて 50 年。
当社は笑顔と信頼を原動力に、今後も永く選ばれ続けるような企業を目指していく。

出所：五十嵐塗装工業　提供資料

3.　事業概要

当社は帯広市を拠点とする塗装業者である。2025 年に創業 50 周年を迎えた当社は、誠実な施工・対応を通じてお客さまからの信頼に応えるサービスを日々提供し続けている。長く帯広市を中心とした十勝全域を営業エリアとしてきたが、技術力の高さを売りに近年は道央・道東にもエリアを拡大し、事業活動の場を広げている。

■建築塗装

建築塗装とは単に建物を美しく仕上げるのみならず、紫外線・雨風・温度変化などの外的要因から建物を保護し劣化を抑制する役割を担っている。当社では戸建住宅の塗り替えをはじめ、集合住宅、商業施設、工場や倉庫、機械設備など幅広く対応しており、塗装対象の用途や立地環境に応じて最適な塗装仕様、施工方法の提案を可能としている。

住宅の塗り替えでは、屋根や外壁の状態を詳細に調査しており、図面等がない場合でも一から測量するなど、事前準備に妥協は一切ない。また、お客さまとの打ち合わせを重ね、豊富な塗料の中から最適なものを選定することでお客さまの求める水準に＋αを提供し、シミュレーション等を活用しながら配色や仕様を細部にわたり決めていくため、高い顧客満足度とリピート率を実現している。

出所：五十嵐塗装工業　提供資料

■鋼橋塗装

当社は一般的な建築塗装のほかに道路橋や歩道橋などを対象とした鋼橋塗装工事も手掛けている。鋼橋塗装工事は、鋼材で構成される橋梁を腐食から守り、安全性と耐久性を長期にわたって確保することを目的とした専門性の高い工事で、施工には高い技術と経験が求められる。

当社は鋼橋塗装を単なる維持補修工事ではなく、社会基盤の長寿命化と安全確保に貢献する重要なインフラ事業と位置付けており、安全対策や工程管理を徹底し、公共財産の保全に取り組んでいる。

■湿式外断熱

当社は建物の省エネルギー化・居住環境向上を目的とした湿式外断熱工事も行っている。断熱材を建物外側に施工し、モルタルや仕上げ材で保護することで断熱性能の向上、結露抑制、建物躯体の保護を実現している。

新築・改修いずれにも対応可能であり、これまで培ってきた技術を生かして、断熱材施工から仕上げ塗装まで一貫した総合的な外装改修提案としてお客さまから高い支持を得ている。

出所：五十嵐塗装工業　提供資料

4.　サステナビリティへの取組

当社は事業活動そのものが社会や環境と密接に関わっていることを認識し、サステナビリティを経営の重要なテーマの一つとして位置付けている。建物を守り、街の景観と安全を支える塗装工事業者として環境負荷の少ない塗料や工法の採用、適切な施工管理による資材ロス低減、安全で働きやすい環境づくり等に積極的に励むことで、長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の両立を目指している。

■「環境」に対する考え方

当社では塗装工事を通じて建物や構造物の長寿命化を図るとともに環境負荷低減等に貢献するため、高付加価値資材を積極的に採用している。具体的には、遮熱塗料を使用したり湿外式断熱工法を施工することで、建物全体の断熱機能を向上させ、年間を通じた省エネ化を可能としている。

また、無機塗料やフッ素塗料などの高耐久塗料を採用することで、塗替え周期を長期化し塗料の使用量や廃材発生量の削減を実現している。

当社では環境性能の向上に寄与する資材の活用のほか、普及活動にも積極的である。具体的な取組として窓用遮熱塗料「エコガラスコート」の事例が挙げられる。「エコガラスコート」とは従来の窓用遮熱塗料の課題であった透明性と熱反射性能の両立や、耐久性が大きく改善された高付加価値塗料である。本州を中心に活用の場が増えてきており、今後さらなる普及が期待されているが、現在のところ北海道では窓に遮熱塗料が塗られることはほとんどなく、本塗料の普及によって建物や乗り物等多くの場面で冷暖房エネルギーの削減が期待されている。

この状況を受け、2025 年に帯広市内の同業数社とともに開発元である「株式会社大光テクニカル」への視察を実施し、本塗料の性能を実際に確かめながら道内での本格活用について議論を行った。今後は、当社を含む帯広市内の数社が中心となり、北海道内における本塗料の利用と普及活動に先駆的に取り組む予定である。

北海道内における窓用遮熱塗料の利用率および認知度が低い状況において、長期的なビジョンと信念を持って普及推進に取り組む当社の姿勢は高く評価される。

高付加価値資材は、適切な下地処理や施工管理を行ってはじめて十分な効果を発揮することができる。当社では事前診断から仕様選定、施工、品質管理まで自社で一貫して行い、持ち前の高い技術力で資材の性能を最大限に引き出した施工を実現している。

出所：五十嵐塗装工業、株式会社大光テクニカル　提供資料

■「人」に対する考え方

当社は企業のサステナビリティを支える基盤は事業に関わるすべての「人」との信頼関係にあると考えている。お客さまはもちろんこと、従業員、地域の人々など当社の事業は多くの人との関わりによって成り立っている。

そのため、当社ではお客さまに対しては誠実で確かな品質のサービス提供を第一とし、従業員対しては安心安全に働ける環境の整備や自己成長の機会の提供に努めている。また、地域に根差した塗装業者として地域の人々との良好な関係を大切にし、事業活動を通じて社会に信頼される存在であり続けることを目指している。

当社では、過度な価格競争によって安価で多量の仕事を受注したとしても、結果的に質の低下に繋がり、お客さまが無駄な時間と費用を費やしてしまうことにもなりかねないと考えている。そのため、当社は塗装の本質である「物を守り、価値を延ばす」ことに立ち返り、お客さまの長期的な利益と安心を最優先にした提案を行っている。

その考え方に基づき、時には当社にとって不利益となる現状維持を勧めることもあるが、結果としてお客さまからの口コミや紹介で多くの受注を獲得していることを踏まえると、当社の正直な姿勢によりお客さまの信頼を勝ち取っている何よりの証と言える。

（当社施工事例）

出所：五十嵐塗装工業　提供資料

当社では、施工の質は現場に立つ従業員一人ひとりの技術と責任によって生まれるものと考え、経営者自らが先頭に立ち従業員の育成にも力を注いでいる。昨年新設した倉庫は従業員の練習場も兼ねており、技術の研鑽に日夜取り組んでいる。経営者の熱心な育成もあり、塗装技術を競う全国大会に毎年従業員が参加するなど、高い技術力は当社の強みとなっている。

当社は従業員の資格取得も積極的にサポートしており、資格取得援助金制度も導入している。社内の塗装資格取得者の割合が高いことは、当社の従業員サポート制度が充実していることの表れといえる。今後は人事評価制度の明確化にも取り組み、職人をはじめとした従業員のモチベーション向上に取り組む意向にある。

その他、従業員への還元として屋外 BBQ パーティや年一回社員旅行を開催しており、2025 年には創業 50 周年の節目として従業員全員で3泊5日のハワイ旅行に行くなど社内交流も盛んだ。

出所：五十嵐塗装工業　提供資料

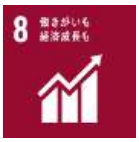
5. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

有限会社五十嵐塗装工業

Sustainability Commitment

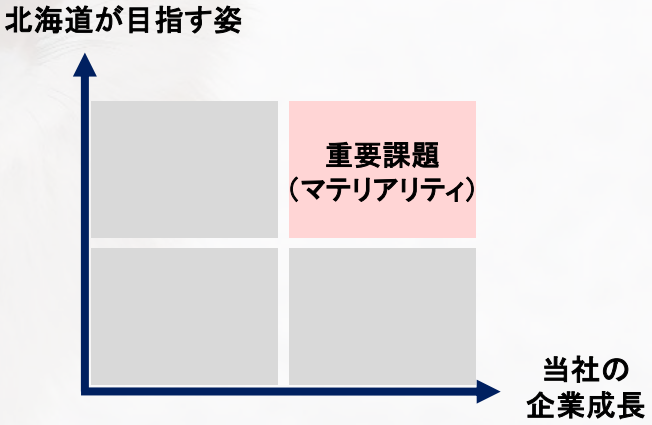
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社板津建築事務所
Sustainability Commitment

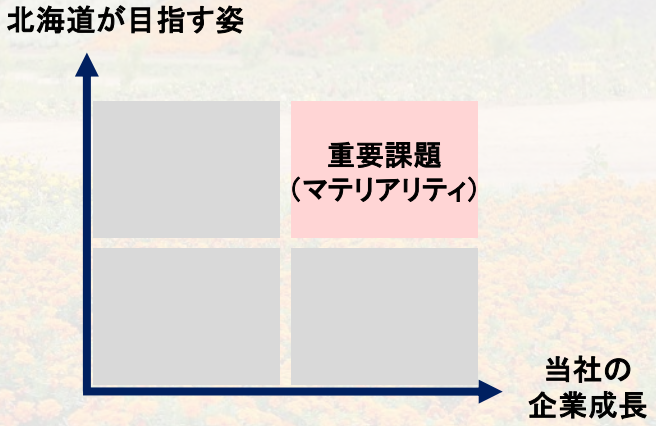
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社 UONOS
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 20 日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社 UONOS	
代表者名	園生　貴之	
所在地	釧路市新栄町14番10号	
資本金	500 万円	
従業員	5 名（2026 年 1 月現在）	
業種	不動産業、建設業	
事業内容	・　不動産賃貸業 ・　買取再販業 ・　リフォーム業	
沿革	2020 年 1 月	株式会社 UONOS　設立
	2025 年 1 月	帯広出張所　出店

2. 企業理念

企業理念

「縁ある人を幸せにする」

わが社は、愛・誠実・感謝・挑戦をもってお客様の理想の住まいを実現し、
全社員の物価両面の豊かさの追求と地域の活性化に貢献することで
縁のある全ての人を幸せにすることを目的とします。

企業ビジョン

「北海道 NO.1 の人を笑顔にする会社」

■ 対顧客：理想の住まいを叶えるパートナー
お客様の理想と思う住まいを明確化し、不動産の提供・リフォームによる良質な環境の再建を行います。

■ 対社員：楽しく厚く生きる場所
金銭面、精神面が豊かになるようにサポートし、協力し、目標を実現していきます。社員一人ひとりが物心両面の豊かさを得ることができ、絆を深め、人生を楽しく厚く生きられる組織を目指します。

■ 対社会：社会貢献企業
住む場所の提供をすることで地域の活性化に結び付けます。また、建築・不動産の立場で社会問題を解決するだけでなく、こども支援をはじめとした社会貢献も行っていきます。

企業フィロソフィー
～株式会社 UONOS の社員としてふさわしい行動規範～ すべての人に対し愛を持って接し、すべての事に感謝をし、そして次の世代へ恩送りが出来る人 社長をはじめ役職者が率先して部下や社員に対し愛を持って接し、感謝をし、恩送りを行う 1. 元気に笑顔であいさつ 出会ったすべての人に対して、元気に笑顔であいさつをし、相手と誠実に向き合う 2. 人を信じ、仲間を信じる 仲間を信頼し、会社全体一致団結して物事に取り組む 3. 新しいことに挑戦 常に前向きに挑戦を続け、物心両面の豊かさを実現する 4. 愛をもって接する 困っている人や仲間を見捨てないで、手を差し伸べる、そして感謝する

株式会社 UONOS（以下「当社」）は、上記の企業理念、企業ビジョン、企業フィロソフィーを社員全員で共有し、社員、お客様、ご縁ある方たちと、人生を楽しく熱く生きることを目指している。また、建築・不動産業に携わる会社として、事業活動を通じた社会課題の解決にも取り組んでいる。

株式会社ウオノス

出所：株式会社 UONOS　提供資料

3. 事業概要

当社は、北海道釧路市を拠点に不動産賃貸業、買取再販、リフォーム事業を展開している。

主な事業エリアである釧路市は、道東エリアの経済や行政の中心地として発展してきたが、若年層の流出による人口減少や空き家の増加、物価上昇による新築住宅価格の高騰など、さまざまな課題を抱えている。当社では地域の課題を踏まえ、中古住宅の取得からリフォーム、再販までを自社で一貫して行い、コストを抑えつつ質の高い住宅を提供することで、マイホーム取得のハードルを下げている。また、空き家の再生にも積極的に取り組み、地域の景観や資産価値の維持、空き家所有者の課題解決にも貢献している。これらの取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展と住民の暮らしやすさ向上に寄与している。

■ **施工現場の様子**

出所：株式会社 UONOS　提供資料

持続可能な社会の実現に向けて、SDGs の取り組みにも関心を向けている。「縁ある人を幸せにする」という企業理念のもと、地域社会や環境への配慮を重視し、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行っている。上述した、中古リフォーム・再販のワンストップ体制による手ごろな価格での住宅供給は、若年層や子育て世帯の定住促進にも貢献しているほか、新築住宅の建設による環境負荷を抑え、廃棄物の削減や資源の循環利用にも寄与している。さらに、こども支援をはじめとした地域社会への貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

また、社内では、社員一人ひとりが物心両面で豊かになれるよう、金銭面・精神面のサポートや働きがいのある職場づくりを推進している。多様な人材が活躍できる環境を整え、社員の成長と幸福を大切にしている。

■　**社内の様子**

出所：株式会社 UONOS　提供資料

今後はエリア展開を計画し、道内での事業拡大を通じて、より多くの地域で空き家問題や住宅課題の解決、地域活性化に貢献していく。建築・不動産の立場から、環境・社会・経済のバランスを考えた事業運営を継続し、持続可能な地域社会の実現を目指していく。

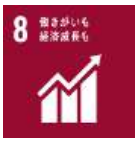
4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社UONOS
Sustainability Commitment

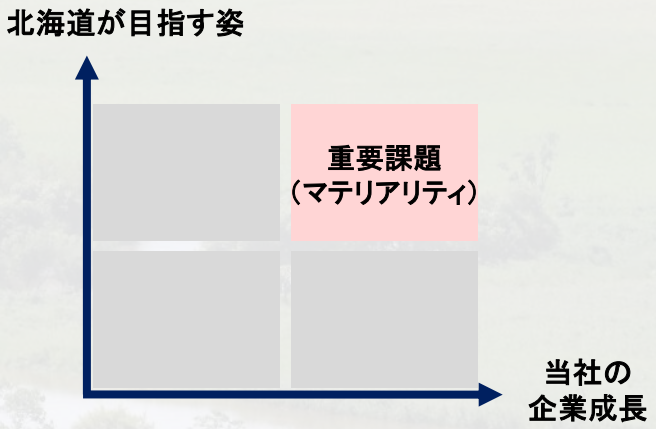
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



合同会社ウミネコ
Sustainability Commitment

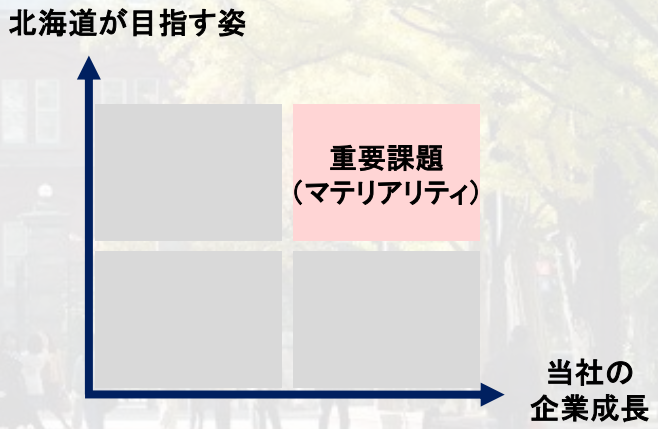
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社N’s Come alive
Sustainability Commitment

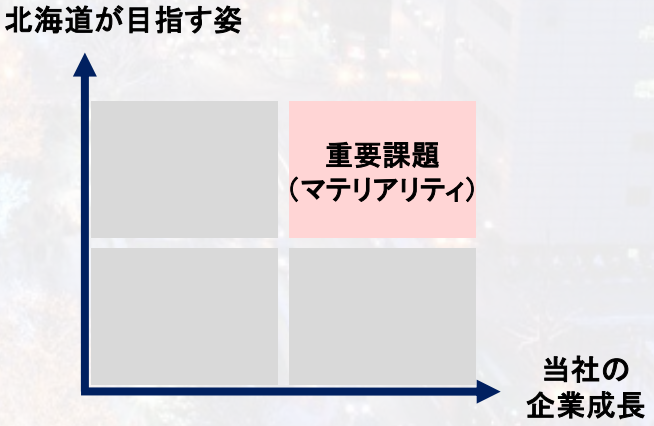
2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



エンコネクト株式会社
Sustainability Commitment

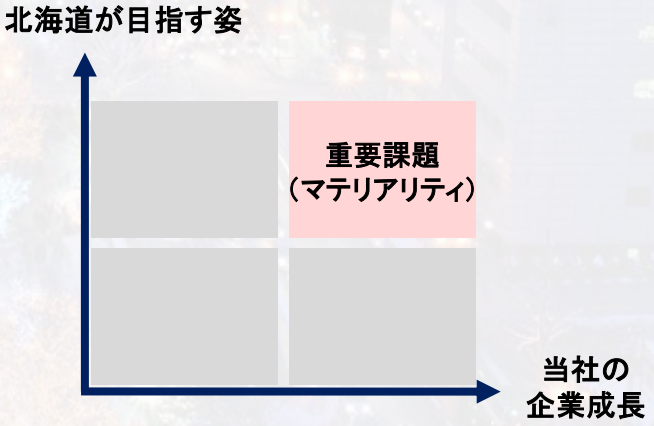
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社大村産業
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日:2026 年 2 月 20 日

株式会社北洋銀行
旭川中央支店

1. 基本情報

企業名	有限会社大村産業	
代表者名	大村　大助	
所在地	本社 南幌営業所	北海道旭川市神居 6 条 6 丁目 2 番 12 号 北海道空知郡南幌町南 7 線西 15 番地
資本金	300 万円	
従業員	28 名 （2025 年 9 月現在）	
業種	運送業	
事業内容	一般貨物運送業、産業廃棄物収集運搬業、飼料・肥料の運搬	
沿革	1973 年 1994 年 2024 年	有限会社大村産業創業 法人成り 創業 50 周年

2. 経営理念

経営理念

お客様にとって「良いもの」を

有限会社大村産業(以下、同社)では、上記の経営理念のもと、お客様の信頼と満足を獲得するため、以下のスローガンを掲げて運送事業を行っている。

(1)「地域を支える力になりたい」

同社は、創業以来 50 年以上にわたり、北海道の道北・道央エリアを中心に、一般貨物・産業廃棄物の収集運搬事業を通じて地域社会の発展に貢献してきた。

(2)「誠実な仕事を、ひとつひとつ丁寧に」

お客様の大切な荷物を安全・確実に届けることはもちろん、地域の暮らしと産業を支える存在として、安心・信頼・実績を積み重ねている。

(3)「お客様はもちろん、従業員にも感謝」

「お客様に選ばれることへの感謝を忘れず、手を抜かず誠心誠意対応する」ことをモットーに、従業員一人ひとりが責任を持って業務に取り組んでいる。

また、従業員にも感謝を伝え、働きやすい職場環境づくりに努めていき、地域に根ざした物流企業として、これからも末永く地域を支え続けていく。

3. 事業概要

同社は、旭川市を拠点に道北・道央エリアを中心とした一般貨物および産業廃棄物の収集運搬事業を展開する会社である。主に食品加工場から発生する不可食部位や産業廃棄物の収集・運搬を担い、さらにそれらを原料とした飼料・肥料の運搬も手掛けている。

関連会社には産業廃棄物処理工場や飼料・肥料製造工場を有し、グループ全体で連携を図ることで、地域の循環型社会づくりに寄与している。

- **運搬用大型トラック**

出所：有限会社大村産業ホームページより抜粋

- **関連会社北央化製事業協同組合の工場と飼料・肥料製造用加熱機**

出所：有限会社大村産業ホームページより抜粋

また、同社は、従業員の働きやすさや成長にも注力し、「ここで働いてよかった」と実感できる職場環境の整備にも努めている。

運送業（自動車運転業務）では、2024 年 4 月から働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が導入されるなど、労働環境の改善が進められているが、少子高齢化による人手不足など、業界全体が依然として多くの課題に直面している。こうした状況下で同社は人材の確保と定着に注力し、幅広い年齢層が長く働ける職場環境を整備してきた。具体的には、定期的な安全運転講習やコンプライアンス研修の実施、物価上昇に対応した賃上げなど、従業員の成長支援と生活安定に積極的に取り組んでいる。

これらの施策により安定した人員体制を維持し、ドライバーの配置に余裕を持たせることで、業務負担の平準化や有給休暇の取得率向上を実現。従業員が心身ともに健康に働き続けられる環境を確保している。

同社は、業界が抱える構造的課題に対して着実かつ実効性のある対策を講じており、持続可能な職場環境の実現に大きく寄与している。今後も同社の取り組みが、地域社会や業界全体の模範となることを期待したい。

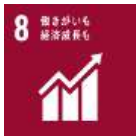
4. サステナビリティ目標

同社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、同社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、同社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

有限会社大村産業
Sustainability Commitment

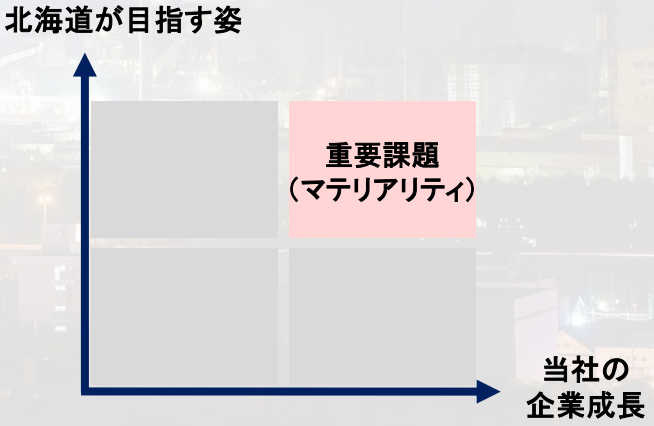
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社川端工務店
Sustainability Commitment

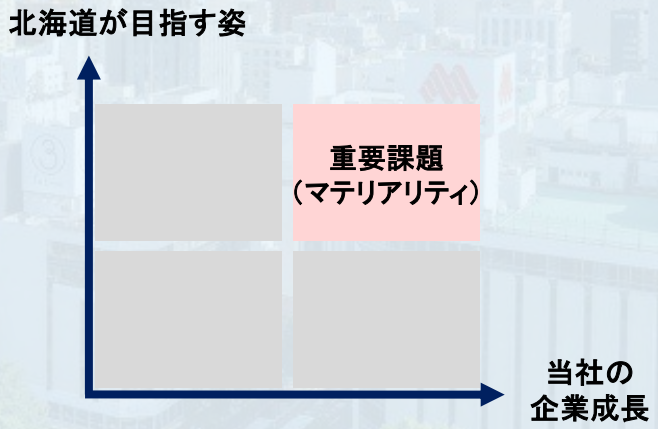
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社久保農園
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 6 日

株式会社北洋銀行
旭川中央支店

1.　基本情報

企業名	株式会社久保農園	
代表者名	久保　昌義	
所在地	・農園　　北海道上川郡比布町北 2 線 11 号 ・事務所　　北海道上川郡比布町緑町 3-8-21	
ホームページ	https://www.kubofarm-hokkaido.com	
資本金	100 万円	
従業員	4 名（2026 年 1 月現在：正社員 2 名、パート 2 名）	
業種	農業	
事業内容	・ゆめぴりか、おぼろづき、ななつぼしを中心とした米の栽培 ・その他栽培品目：にんにく、とうきび、じゃがいも、小豆、かぼちゃ	
沿革	1970 年	久保農園　創業
	2005 年	現代表である、久保昌義が事業引継
	2021 年	株式会社　久保農園設立

2.　経営理念

経営理念

【安全・安心・おいしさの追求】

久保農園は低農薬栽培や自然環境を活かした丁寧な農業により、常に安全で安心できる農産物を生産し、お客様に「おいしい」と喜ばれる品質を届けることで、食卓を笑顔で満たすことを目指している。

豊かな北海道の大地と水に感謝し、自然環境を大切にしながら、持続可能な農業を実践。

比布町をはじめ、道内外の人々とつながり、地域の「食」と「暮らし」を支える存在であり続け、農業で地域を元気にし地域社会の発展にも貢献していく。

3.　事業概要

■　久保農園で栽培されているお米

出所：久保農園　提供資料

久保農園は、北海道の中央部・上川盆地にある比布町で米をメインに作付している。比布町の中心産業は農業であり、「ゆめぴりか」発祥の地である。久保農園では「ゆめぴりか」、「おぼろづき」、「ななつぼし」を中心とした米の栽培を行っており、大雪山の雪解け清水に恵まれた肥沃な大地で、低農薬で安全・安心な美味しいお米づくりを目指している。その他には、にんにく、とうきび、じゃがいも、小豆、かぼちゃの栽培も行っている。

■　北海道比布町産　元気にんにく

▲　HP より産地直送にて販売中

出所：久保農園　提供資料

大雪山の恩恵をうけ、冬は雪の下で育てることで、甘味とコクがある安心・安全で自慢のにんにくである「元気にんにく」の生産も手掛ける。にんにくは土がつめたいほど糖度が高まるのが特徴であり、寒暖の差がある北海道だからこそ、じっくりと美味しく育つ。比布町「大熊養鶏場」のこだわりのたい肥を使用し、農薬は極力使用していないのが特徴である。

■ 自動販売機

久保農園では、比布町内の「ばらえてぃきっちん紙風船敷地内」にて、自動販売機による米や新鮮野菜の販売を行っている。

新米（ゆめぴりか・ななつぼし　各真空パック）、にんにく（白・黒）、かぼちゃ、じゃがいも、小豆、ぴっぷ小ねぎ醤油などを取り揃え、地域に根ざした商品として、地元の方々から高い評価を得ている。

出所：久保農園　提供資料

■ 農機

トラクター等による土壌への負担を最小限に抑えるため、クローラータイプもしくは極力軽量の機械を使用。緑肥作物を活用した土づくりを行い、土中への自然な窒素呼吸を促進している。

また、ローカル肥料に加えてスタブルカルチやプラウの併用により、土壌環境の改善に取り組んでいる。さらにICT技術を早期に導入し、作業の効率化を図ることで、農業資材の使用削減を意識した経営を行っている。

出所：久保農園　提供資料

■ 北海道エコファーマー認定

エコファーマーとは、土づくりと化学肥料・農薬の使用低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者の愛称国の法律(持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律)に基づき、都道府県知事が認定する制度である。当社では、導入指針に基づく生産方式を実践する農業者として、北海道エコファーマー認定を取得している。

出所：久保農園　提供資料

出所：北海道庁　エコファーマー制度の概要

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/clean/ecofarmer.html

4. サステナビリティ目標

久保農園の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、久保農園の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、久保農園のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**①人的資本経営の推進** **②ワークライフバランスの充実**
目　標　・　ＫＰＩ	①　役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ②　正社員の年間労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社久保農園

Sustainability Commitment

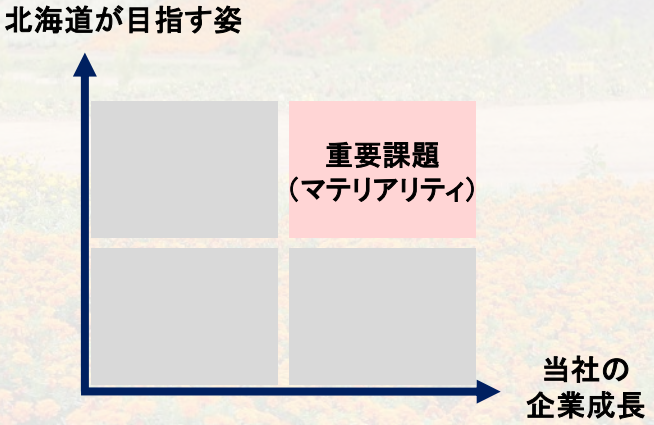
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
3	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社クリエイティブネットドア
Sustainability Commitment

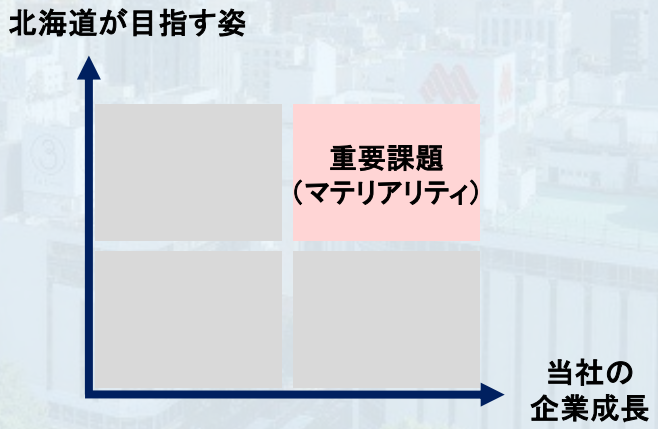
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
3	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社コレクト
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 27 日

株式会社北洋銀行
旭川中央支店

1.　基本情報

企業名	株式会社コレクト	
代表者名	太田　陽介	
所在地	・事務所　北海道旭川市神楽岡 6 条 6 丁目 2 番 2 号 ・店舗　北海道旭川市春光町 10 番地　イオン旭川春光SC	
資本金	100 万円	
従業員	25 名（2026 年 2 月現在：正社員 5 名、パート 20 名）	
業種	中古玩具小売業	
事業内容	・トレーディングカード輸出販売 ・トレーディングカード店頭販売、買取	
沿革	2021 年 8 月	個人事業主として、トレーディングカード輸出事業を開始
	2023 年 2 月	株式会社かぐら屋　設立
	2023 年 7 月	株式会社コレクトに商号変更
	2023 年 9 月	カードショップコレクト東光店　開店
	2024 年 9 月	カードショップコレクト　イオン旭川春光店　開店
	2025 年 8 月	カードショップコレクト東光店　閉店(拠点集約)
	2026 年 4 月	カードショップコレクトBivi新さっぽろ店　開店予定

2.　経営理念

経営理念

【旭川から世界へ、世界から旭川へ】

株式会社コレクトは、地域社会との共存共栄を基本理念とし、事業活動を通じて地域に貢献し、地域にとって必要とされる企業であり続けることを使命とする。

旭川を起点に全国、そして世界へと事業を展開し、トレーディングカードの買取・販売を通じて人と市場をつなぐ。また、単なる雇用の創出にとどまらず、従業員一人ひとりの QOL(生活の質)向上を重視し、働きがいのある持続可能な職場環境の実現を目指している。

3.　事業概要

コレクトは、トレーディングカードのオンラインによる輸出販売と、「カードショップコレクト」にて買い取り・販売事業を行っている。現代表取締役である太田　陽介氏が 10 年間勤務した陸上自衛隊を退職後、2021 年に起業。190 カ国に展開する世界最大規模の越境ECサイト「eBay」を用いた輸出販売事業をスタートした。また輸出事業に加え、イオン旭川春光店でトレーディングカードの販売店舗を運営しており、2026 年 4 月にはBivi新さっぽろ店をオープン予定するなど、札幌圏にも事業展開を進めている。また、道内に留まらず、将来的には全国展開も視野に入れた成長戦略のもと事業活動を行っている。

出所：コレクト　提供資料

■　店舗コンセプト

出所：コレクト　提供資料

当社では、「誰でも気軽に入れるカードショップ」をコンセプトに、従来のカードショップに心理的なハードルを感じている顧客層にも親しまれる店舗運営を行っている。内装・接客に注力し、カフェのような空間づくりとドリンク提供により従来型店舗との差別化を図っている。

来店者は子どもから大人まで幅広い年齢層にわたり、日常的に大会や各種イベントを開催している。こうした交流の機会を提供することで、単なる物販にとどまらない交流拠点としての役割を果たしており、地域コミュニティの活性化に貢献している。

■ トレーディングカード市場

トレーディングカード市場は、2024 年度における国内市場規模が 3,000 億円を突破するなど、拡大基調が続いている。主にトレーディングカードゲームを中心に需要が牽引され、国内外で幅広い世代から支持を得ている。

コロナ禍における巣ごもり需要の増加をきっかけに、YouTube 等の動画コンテンツを通じた情報拡散、大人世代への普及、トレーディングカードの鑑定市場の拡大等により、需要の増加が加速。これらの要因により、今後も安定した成長が見込まれている。

出所：コレクト　提供資料

■ eBay Japan Awards　受賞

eBay Japan Awards は、世界最大級のオークションサイト「eBay」に出店する日本企業・個人のうち、1 年間の販売実績、成長率、バイヤー（買い手）の評価、カテゴリー別の成績などで優れたセラーを年 1 回表彰する公式イベント。

コレクトは 2022 年、2023 年、2024 年と 3 年連続受賞しており、eBay 公式ホームページにおいて成功事例として紹介されるなど、コレクトの事業モデルおよび海外販売力はプラットフォーム運営側からも非常に高い評価を受けている。

出所： ebay　成功事例紹介「https://www.ebay.co.jp/success-story/ss011/」

コレクトは、トレーディングカードの買取・販売及び海外向け輸出販売を主たる業種とし、中古カードを再流通させることで製品寿命の延長と廃棄物削減に取り組み、資源の有効活用及び循環型経済の実現に貢献している。本ローンをきっかけに温室効果ガス排出量の測定ツールを導入し、温室効果ガス排出量の可視化と更なる省エネルギー化を進めていく。

また、国内で価値が低下した商品を海外市場へ流通させることで製品価値の最大化と需給の最適化を図り、日本発コンテンツの海外展開を通じた経済的持続性の確保にも寄与。専門性を有する買取・査定業務、EC を活用した販売体制により、透明性の高い取引と安定的な事業運営を実現している。

加えて、子ども向け大会の開催や親子で楽しめる店舗運営、来店客同士の交流の場を提供することで、地域コミュニティの活性化にも寄与。環境・社会・経済のバランスが取れた持続可能な経営を行っている。

4. サステナビリティ目標

コレクトの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、コレクトの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、コレクトのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**①人的資本経営の推進** **②ワークライフバランスの充実**
目　標　・　ＫＰＩ	①　消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ②　正社員の年間労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社コレクト
Sustainability Commitment

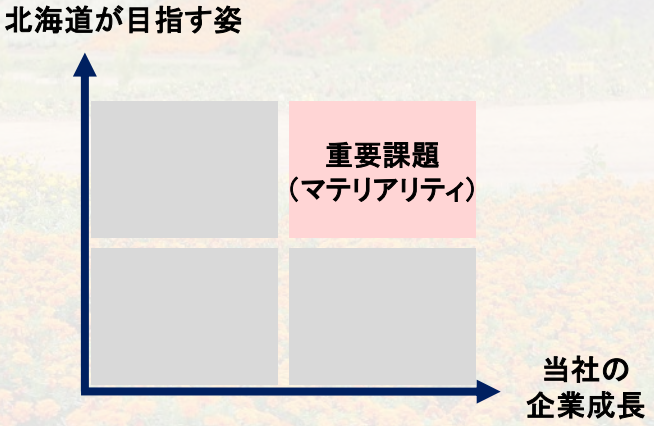
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社札幌ガラスサービス
Sustainability Commitment

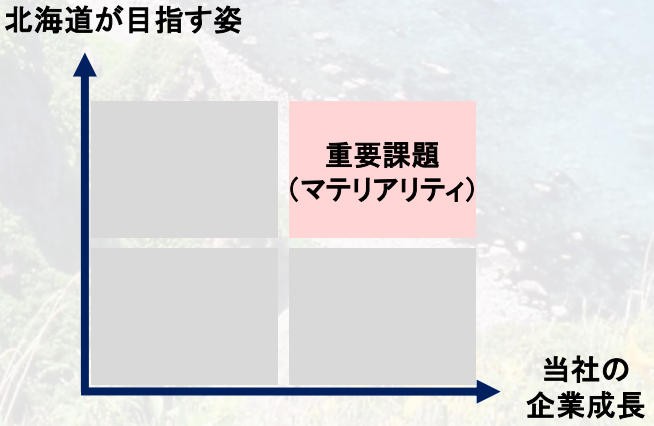
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社札幌情報ソリューションズ
Sustainability Commitment

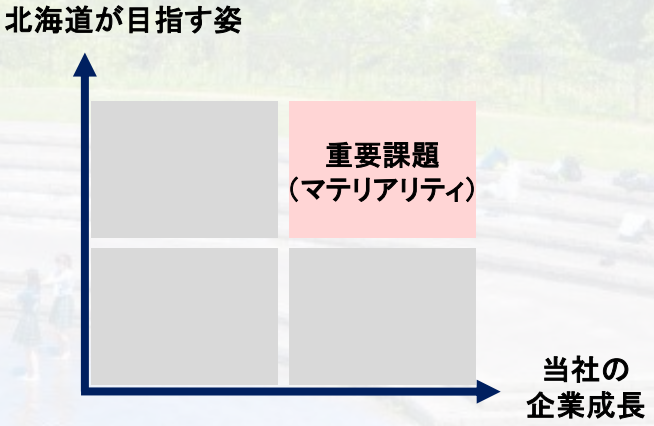
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



GENIXY 株式会社
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 20 日

株式会社北洋銀行
札幌西支店

1.　基本情報

企業名	GENIXY 株式会社	
代表者名	工藤　正広	
本社所在地	北海道札幌市中央区南 5 条西 5 丁目 9 番 1 号	
資本金	6 百万円	
従業員	22 名（2025 年 11 月現在）	
業種	飲食業	
事業内容	飲食店 6 店舗と姉妹店 1 店舗運営、EC 事業	
沿革	2012 年 1 月	当社設立
	2017 年 11 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店　本店」開店
	2019 年 4 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店　2 号店」開店
	2020 年 11 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店　大阪福島店」開店
	2021 年 10 月	「大衆酒場　半立呑処　マイキー」開店
	2021 年 11 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店　本店」拡張移転リニューアルし開店
	2023 年 11 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店 3 号店」開店
	2025 年 4 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店 3 号店」1 人 1 鍋にニューアルし開店
		「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店　KAKOI-囲-」開店
	2025 年 8 月	「工藤羊肉店」の商標登録
	2026 年 2 月	「極薄ラムしゃぶ専門　工藤羊肉店 3 号店」リニューアルし開店

2.　経営方針

GENIXY 株式会社（以下、「当社」）は「すべてのお客様に満足していただき、人々に喜びと感動を提供すること」を使命としている。その実現のために食事の質だけではなく、その場の雰囲気やサービスの質にもこだわり、心地よいサービスと価値を提供するという外食産業の本質である「ホスピタリティー」を常に心がけ事業活動を行っている。

MISSION

経営を通じ人々に感動を与え続け
地域・社会に必要とされる存在となる

3. 事業概要

当社は札幌市に本社を構える飲食業者である。札幌と大阪で「極薄ラムしゃぶ専門 工藤羊肉店」や「大衆酒場半立呑処マイキー」など、個性豊かな飲食店を 6 店舗と 1 店舗の姉妹店を運営している。新しく EC 事業にも挑戦しており、自社 EC サイトも運営している。

2019 年から 2024 年の 6 年間、毎年新店舗をオープンし、多くのメディアに取り上げられているほか、芸能人やインフルエンサーにも利用されている。さらに 2023 年度と 2024 年度にはさっぽろオータムフェストにも出店し、多数の集客を収めた。

■ 「極薄ラムしゃぶ専門 工藤羊肉店 本店」と「大衆酒場半立呑処マイキー」の外観

出所：GENIXY 株式会社提供資料

当社はラムしゃぶ市場において「技術」「味」「体験」で競争優位性を確立している。

「技術」において、オーダー後にスライスされる 0.2mm のラム肉は、①特有の臭みの抑制、②出汁との瞬間的な絡み、③口の中で溶ける食感を再現。

「味」においてはラム肉に最適化された完全オリジナルのポン酢とゴマダレを開発。これらの調味料は、ラム肉の旨味を最大限に引き出すために、何度も試作を重ねて完成した逸品となっている。

最後の「体験」では羅臼昆布を含む季節毎の 5 種類以上のオリジナル出汁をお客様に選択させることで、毎回異なる味わいの体験を可能とし、再来店を促進させている。

以上の三位一体戦略で他社では味わうことのできない「真に再現不可能な価値」をお客様に提供している。

■ 当社名物 「極薄ラムしゃぶ」と期間限定のオリジナル出汁

出所：GENIXY 株式会社提供資料

当社では、従業員が働きやすい職場環境の整備にも注力している。最初から過度な負担を強いるのではなく、一つひとつ段階を踏んで、未経験のスタッフでも安心して働けるよう丁寧な研修を用意している。また、スタッフ間のコミュニケーションが円滑で、良好な人間関係が築かれていることに加え、年次や立場を問わず誰もが企画を提案できる制度を整えている。自身の意見が尊重される風通しの良さが居心地の良さに繋がり、その環境が高い定着率という結果にも現れている。

■ **当社スタッフの様子**

出所：GENIXY 株式会社提供資料

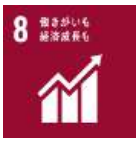
4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

GENIXY株式会社
Sustainability Commitment

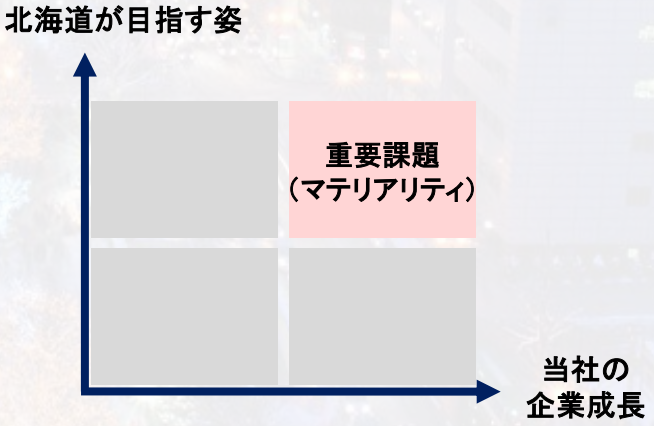
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社 Spera
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 19 日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1.　基本情報

企業名	株式会社 Spera	
代表者名	犬伏　駿介	
所在地	釧路市末広町 9 丁目 2-5 ブリック釧路 201	
ホームページ	https://sperahe.co.jp/?page_id=115	
従業員	27 名（2026 年 1 月現在）	
業種	サービス業	
事業内容	・　セールスプロモーション事業 ・　営業支援事業 ・　オフィスサポート事業	
沿革	2020 年 5 月	Spera 合同会社　設立
	2023 年 7 月	Spera 合同会社より株式会社 Spera へ組織変更

2.　経営理念

経営理念

共存…私たちは、お客様・従業員・パートナーとともに歩み、互いに支え合いながら成長していく企業を目指します。

信頼…誠実さと透明性を大事にし、お客様から信頼され、
その信頼に応え続けるサービスを提供します。

未来…未来は待つものではなく、創るもの。挑戦を恐れず、失敗から学び、進化し続けることで、次の時代に必要とされる価値を生み出していきます。

株式会社 Spera

出所：株式会社 Spera　提供資料

3. 事業概要

株式会社 Spera(以下、「当社」)は、主にスマートフォンをはじめとする通信端末やモバイル回線の販売を通じて、お客様一人ひとりに最適な通信環境を提案・提供している。家電量販店や商業施設などの販売拠点で、ライフスタイルや利用状況を丁寧にヒアリングし、安心して利用できる通信サービスを届けている。変化の激しい通信業界で、「人」と「テクノロジー」をつなぐ架け橋として、信頼される販売・サポートを目指している。

主な事業は以下の通りである。

【セールスプロモーション事業】

企業のマーケティング戦略や販売戦略に欠かせない販売促進活動として、店頭イベントやキャンペーン、商品の魅力を訴求する活動を行っている。家電量販店や商業施設での携帯電話販売などを手がけ、顧客のニーズに寄り添ったサービス提供を行っている。

【営業支援事業】

営業支援のプロフェッショナルチームによる、顧客管理システムの導入や継続的なトレーニング、効果的な販売戦略の立案など、多様な営業支援サービスを提供している。お客様それぞれのビジネスニーズに合わせて柔軟に対応し、共に成長できるパートナーとして営業業務の効率化・成果向上に貢献している。

【オフィスサポート事業】

コールセンターにおけるインバウンド／アウトバウンド業務や各種受付業務をはじめ、お客様の声の収集・分析を通じてマーケティング戦略へ活用している。変化する市場ニーズに迅速に対応し、最新かつ最適な提案を行う体制を整えている。直接お客様と対話するスタッフが企業を代表し、双方の声を的確に伝える重要な役割を担っている。産業の進展と多様化するビジネスモデルに合わせ、コールセンターサービスも進化し続けている。

■ **当社オフィスと勤務中の様子**

出所：株式会社 Spera　提供資料

これらの事業活動を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも積極的に取り組んでいる。特に、目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」への寄与や、目標 11「住み続けられるまちづくりを」の観点から、誰もが簡単に通信サービスへアクセスできる環境づくりに努め、地域間の格差縮小と生活の質向上に貢献している。さらに、目標 12「つくる責任、つかう責任」に則り、営業活動を行う上で利用する資源の無駄遣いを防ぎ、持続可能なライフスタイルの提案を心がけている。

今後は人材への投資と働きやすい環境づくりの観点から、消費者物価指数を上回る賃金上昇の継続的な実施と、正社員の年間総労働時間を 1923 時間以下に抑えることを目標に掲げ、社員一人ひとりの生活向上とワークライフバランスの実現に努めていく。

持続可能で健全な企業経営を追求するとともに、「人」と「テクノロジー」をつなぐ架け橋として、SDGs の理念を社内全体に浸透させ、持続可能な社会の実現とより良い社会の構築を目指す。

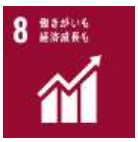
4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	①　**人的経営支援の推進** ②　**ワークライフバランス充実**
目　標　・　ＫＰＩ	①　消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ②　正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社Spera
Sustainability Commitment

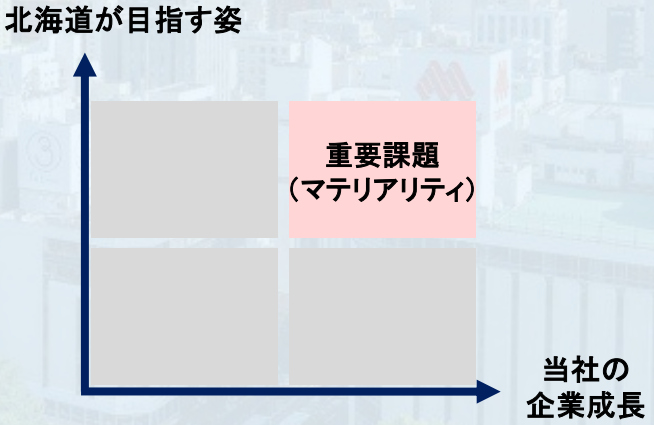
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社セイテック
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 27 日

株式会社北洋銀行
中島町支店

1.　基本情報

企業名	株式会社セイテック	
代表者名	渡部　静	
所在地	・　本社(電設工事部)　北海道室蘭市八丁平 4 丁目 45-14 ・　東海機材センター(仮設機材リース部)　北海道室蘭市八丁平 2 丁目 118-2	
資本金	500 万円	
従業員	25 名 （2025 年 9 月現在）	
業種	建設業	
事業内容	・　電設工事(電気通信工事、消防設備工事等の電気に関わる工事全般) ・　仮設機材リース	
沿革	2005 年　4 月	セイテックを個人創業
	2007 年　11 月	株式会社セイテック　設立(資本金 5 百万円)
	2008 年　5 月	建設業許可取得　電気工事業
	2013 年　4 月	建設業許可追加　とび・土木工事業
	2018 年　4 月	建設業許可追加　解体工事業
	2021 年　3 月	新社屋建設、現所在地に移転
	2021 年　11 月	建設業許可追加　消防施設工事業
	2025 年　4 月	仮設機材リース部　東海機材センター開設

2.　経営に対する考え方

経営方針

いいシゴト、よいミライ

株式会社セイテック(以下、「当社」)は、創業以来受け継いだ技術力と柔軟な対応力を活かし、製鉄工場・製紙工場・火力・水力発電所をはじめとする多様なプラント電気設備工事に携わり、近年では大型太陽光発電所や大型蓄電池設備、半導体製造プラントなど時代のニーズに応じた高品質で安全な工事を提供している。

社会やお客様から求められる技術を常に追求し、少子高齢化やカーボンニュートラル、デジタル化、働き方改革など、変化する社会環境に迅速に対応できる企業を目指し、「いいシゴト、よいミライ」を実現するために今後も建設業界だけでなく、地域社会にも貢献できる企業を目指している。

3. 事業概要

当社は室蘭市に本社を置き、電設工事業と仮設機材リース事業の 2 つの事業を展開する建設業者である。電設工事業は室蘭市を中心に、北海道内外の幅広いエリアで電気設備工事を手掛けている。

当社には第 3 種電気主任技術者や 1 級電気工事施工管理技士など有資格者が多数在籍しており、一般住宅・店舗・ビル・マンションから、発電所や大規模プラント、各種工場、公共施設、受変電施設、電気通信設備、消防設備まで、多様な現場に対応可能であり、企画・設計・施工・メンテナンスまで包括的なサポートを行えることが強み。電気品据付に必要な基礎工事や金物製作、配線路の設置、特別高圧ケーブルの端末接続など、専門性の高い工事にも対応しており、顧客ニーズに寄り添った施工プランの提案を提供している。

仮設機材リース事業では、熟練のスタッフが整備・点検により常に万全な状態で機材を提供し、豊富な取り扱いラインナップの中から最適な組み合わせを提案することで、現場の業務効率化に貢献している。

■ 本社、作業風景、東海機材センター

出所：株式会社セイテック　提供資料

当社が掲げている「いいシゴト、よいミライ」を実現するためには、従業員の働きやすさ・満足度の向上が大切であると考えており、従業員のエンゲージメントを高める取り組みを多数行っている。例えば、従業員の知識向上研修を兼ねた国内外での旅行や、外部講師招聘による講習の実施。他にも、従業員の資格取得支援や有給休暇の取得推進、健康促進のため最新設備を導入しているトレーニングジムの設置により従業員の満足度向上・組織の活性化を図っている。

■ 沖縄での社員旅行、研修風景

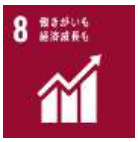
4. サステナビリティ目標

株式会社セイテックの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実現する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**ワークライフバランスの充実**
目　標　・　ＫＰＩ	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社セイテック
Sustainability Commitment

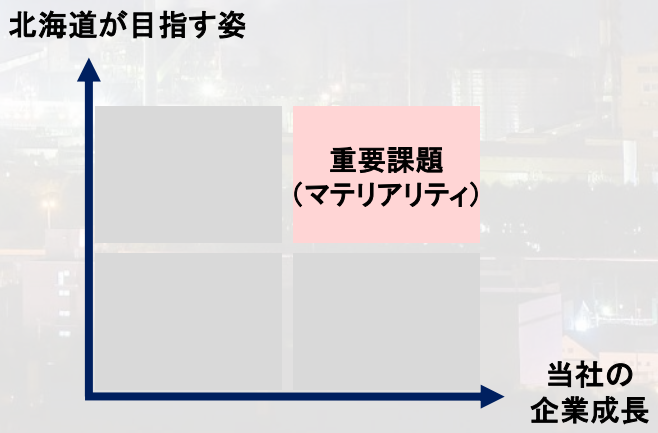
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ナリーズコーポレーション
Sustainability Commitment

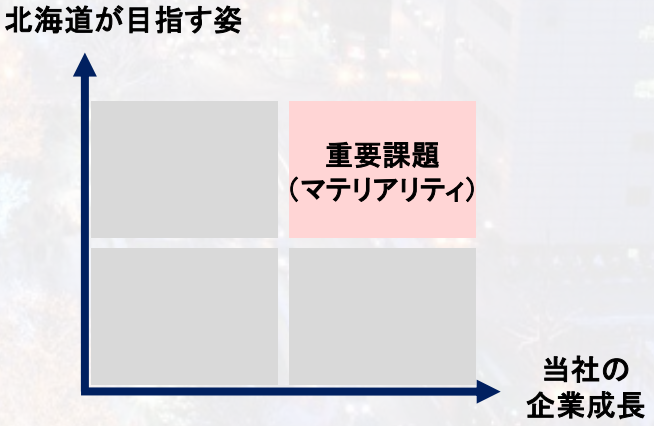
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社西岡ショッピング
Sustainability Commitment

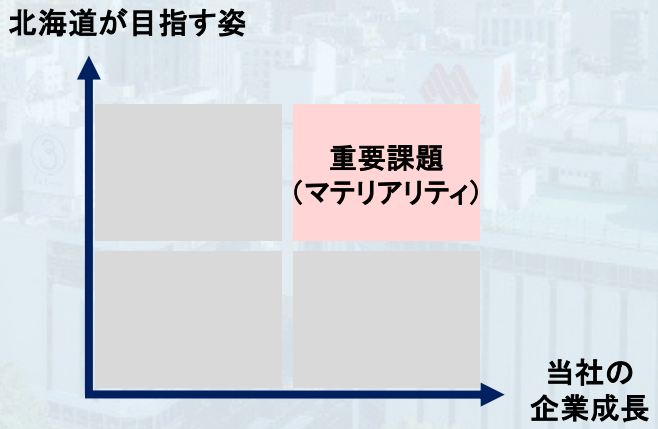
2026年1月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社日道工業
Sustainability Commitment

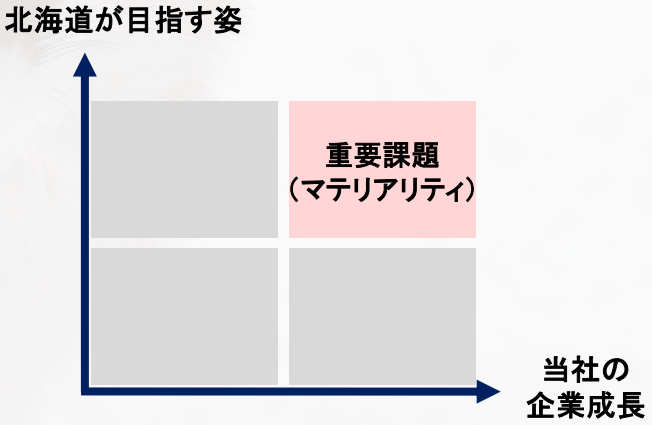
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



ハッピーハウス有限会社
Sustainability Commitment

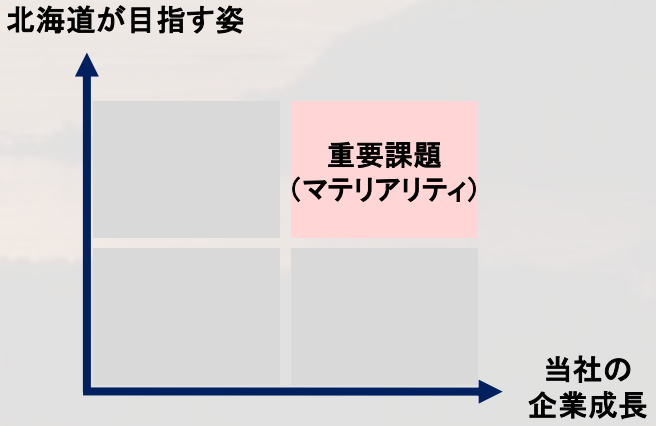
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社B・M・G
Sustainability Commitment

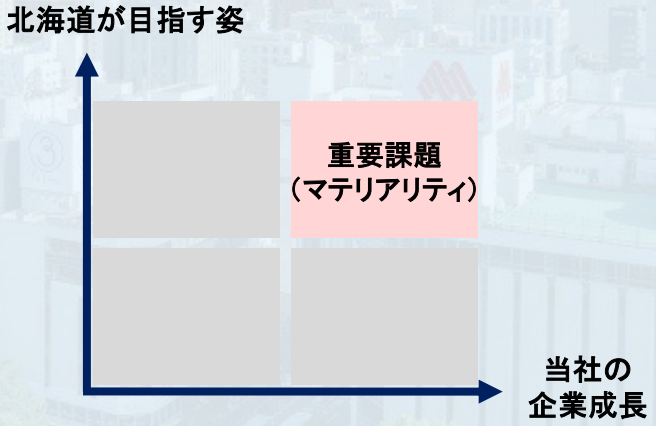
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ビューティフルジャパン
Sustainability Commitment

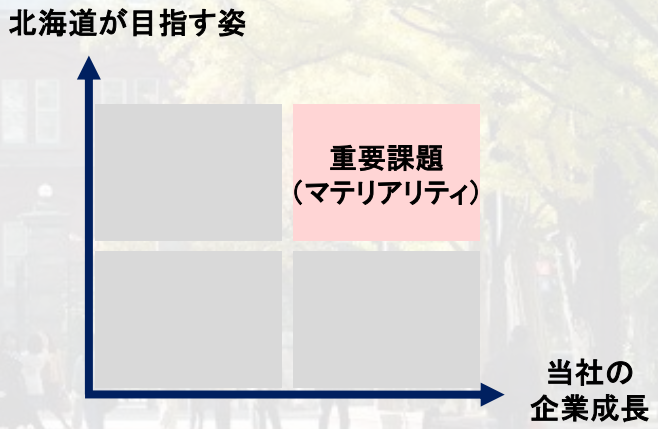
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。
3	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ファルムコンサルティング
Sustainability Commitment

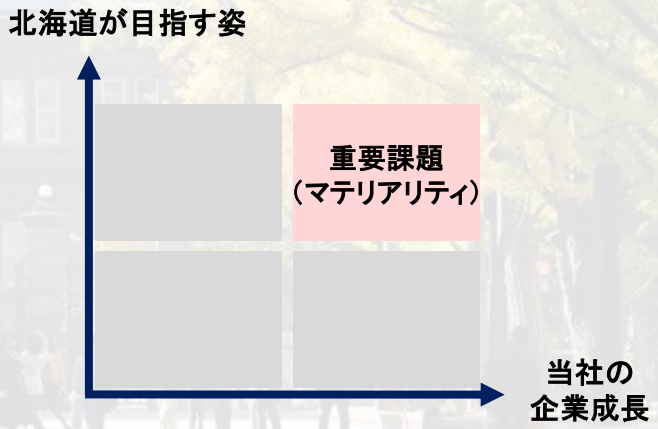
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ホクト造園

Sustainability Commitment

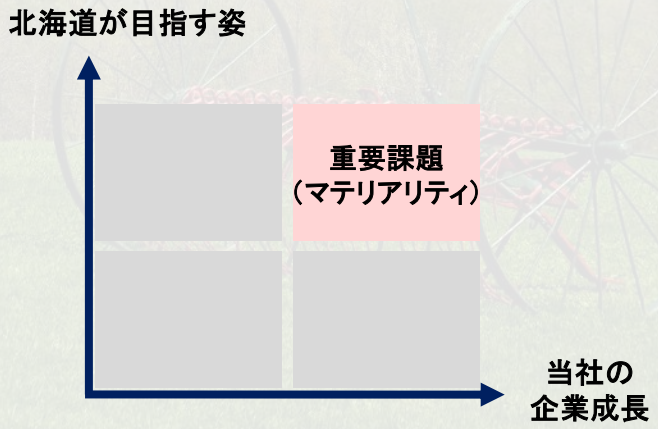
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社松原特殊農機
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2026 年 2 月 27 日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1.　基本情報

企業名	株式会社松原特殊農機	
代表者名	松原　啓隆	
所在地	北海道河東郡音更町木野大通東 13 丁目 3-5	
資本金	1,000 万円	
従業員	16 名（2025 年 2 月現在）	
業種	製造業	
事業内容	・　選別及び搬送機械の製造・販売・メンテナンス ・　農業及び食品関連施設のプラント施工・据付工事 ・　プラットフォーム運営・マーケティング支援	
沿革	1952 年	松原義輝氏が雑穀調製機器及び建築業として創業
	1957 年	有限会社　松原特殊農機具製作所　設立
	1966 年	海外製選別機の導入
	1972 年	株式会社松原特殊農機　商号変更
	1982 年	新社屋工場を現在地音更町に新設
	1991 年	松原久宗氏が代表取締役に就任
	2000 年	現存モデルの広域大規模プラント工事着手
	2019 年	プラットフォーム市場への参入
	2024 年	新型選別機ブランド「ONEXT」（ワンエクスト）を開発
	2025 年	松原啓隆氏が代表取締役に就任

出所：松原特殊農機　提供資料

2.　理念体系

企業理念
ものづくりで、食の感動を。

経営方針
01．食に関する機械技術の発展に貢献します。 02．人と食をつなぐ新たな環境を提供します。 03．農業と工業を支える未来の姿に挑戦します。

行動指針
01．常に独創的な視点で生産すること。 02．三方良しな関係を維持すること。 03．社会のルールを遵守すること。

「1%でも良い、皆さまの期待や想像を越える。」

松原特殊農機は、創業以来、地場のお客様と真摯に向き合い、その声を受け止め課題解決に挑み続けてきた。時代の変化とともに、地域を取り巻く環境や求められる価値は変化し続けている。

創業 74 年目を迎えた現在、受け継いできた伝統を礎に、「変化・創造」を止めない姿勢が、これまで以上に求められている。そのため、「1%」でもお客様の想像を越え、「あっと驚く」ようなものづくりやサービス提供を心掛けている。その 1%の積み重ねを通して、選別業界をリードする企業になることを目指している。

出所：松原特殊農機　提供資料

3. 事業概要

松原特殊農機は北海道音更町に拠点を構える農機具製造業者である。当社の事業は、農作物の選別工程を担うことを中心に展開されている。収穫された農産物は当社が提供する選別機械や生産ラインにより、異物除去や品質選別、サイズ・形状ごとの分類が行われ、その後、流通業者や食品メーカー等に出荷される。こうした一連の流れの中で、松原特殊農機は農家から消費者までの食の安全と品質を支える重要な役割を担っている。

■ 選別機械事業・プラントエンジニアリング事業

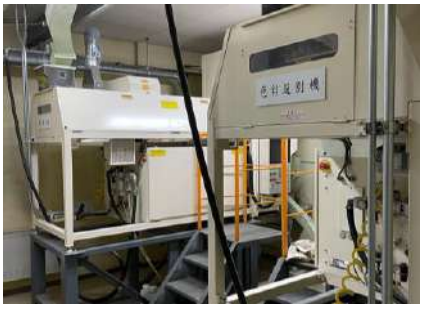
松原特殊農機は、創業 70 年超にわたり選別機械及びプラントエンジニアリング事業を中核としてきた。選別機事業では、大豆や穀物等を対象に、多彩な選別機器を展開し、特注対応等により顧客の細かなニーズに答えている。また、自社製品のみならず協力メーカーを含め、多様な機器のメンテナンス・改善にまで携わり、長期安定稼働と生産性向上を実現している。さらに、十勝という日本有数の農産地で磨き上げてきた知見と技術力は高く評価され、今では全国各地から相談が寄せられている。

■ 主な選別機械（一例）

出所：松原特殊農機　提供資料

プラントエンジニアリング事業では、施設全体の設計から施工・メンテナンスまでを一貫して担い、エンジニアによる細やかなフォローで設備の最適化と生産性向上に貢献している。現在、松原特殊農機に求められるニーズは、①既存設備の修理・改善提案、②将来を見据えた設備新設の双方である。現在、選別業界において設備のメンテナンスや改善提案ができる技術者が減少しているが、当社は工場の修理からメンテナンスまで一貫して対応可能な体制を有している。これにより、長期安定稼働を支えるとともに、設備更新が困難な現場にも価値を提供している。また、新設設備においても、予算や設置スペース、処理速度など顧客の細かな要望に対して柔軟に対応し、最適な生産ラインの構築を実現している。この 2 つのニーズに応えるため、現場目線の徹底したヒアリングが当社の信頼と存在感を高めている。

■ プラントエンジニアリング事業の様子



出所：松原特殊農機　提供資料

4. 近年の施策と経営変革

■ 事業・技術の承継

2025 年より三代目として現任の松原啓隆氏が代表取締役に就任した。それ以前は、当社も後継者不在という道内企業共通の課題を抱えていたが、事業承継により長年培ってきた技術とノウハウの継承が実現し、持続的な企業経営への道筋がより確かなものとなった。

また近年では、IT・マーケティング分野とのマッチングを強化し、従来の製造業的な手法に加え、デジタル化や異業種連携、新規事業開発等、柔軟な発想と行動力を兼ね備えている。

組織面では、WEB 媒体を活用し、自社の魅力や働き方を発信することで多くの応募者を集め、20 代・30 代を積極的に採用しており、現在では全体の 4 割を占める。今後は採用重視から育成重視のフェーズへ移行し、やりがいを感じられる職場づくり・技術承継に努めていく。

■ 補助金の活用

近年では各種補助金を活用し、先進設備の拡充を図っている。例えば、2024 年には、ものづくり補助金を活用し、「サーボベンディングマシン（プレス加工機）」を導入した。これにより、オイル使用量やエネルギー使用量の削減といった環境負荷低減が期待できるほか、自動化による段取り軽減による生産性向上が期待される。国内でも導入例が少ない先端機械の導入であり、当社の技術革新への積極性がうかがえる。

環境配慮と生産性向上を両立する設備投資は、持続可能な企業経営を志向する当社の姿勢を強く印象付けるものである。今後も、先進設備の積極的な導入と技術力の強化を通じて、選別機業界における技術革新を牽引することを目指している。

■ 補助金を活用し導入した工作機械

サーボベンディングマシン（プレス加工機）
2024 年ものづくり補助金を活用し導入

レーザー加工機
2023 年ものづくり補助金を活用し導入

出所：松原特殊農機　提供資料

このように松原特殊農機では、事業・技術承継にむけた体制構築、若手人材の確保、先進的な設備拡充等、持続的な成長に向けた取り組みを積極的に行っている。今後は、人材育成の深化、異業種展開の実現、組織全体の一体感醸成にも視野を広げている。引き続き、地域に根差した事業展開とともに、柔軟な人材戦略・組織運営を推進することで、持続的成長を図っていく考えにある。

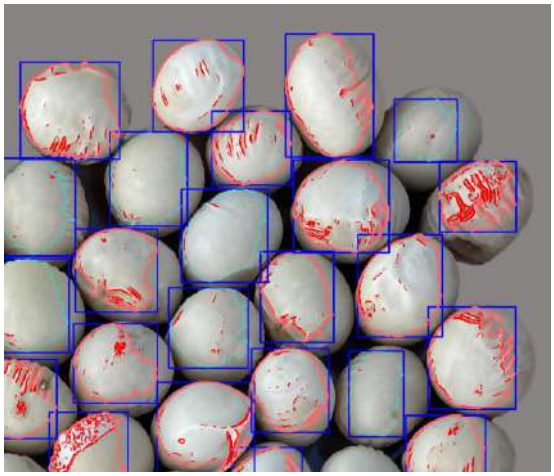
5.　持続的成長に向けた成長戦略

松原特殊農機は、伝統的な選別機事業を基盤としつつ、近年はデジタル技術の導入や新規事業開発に積極的に取り組んでいる。特に、生成 AI や画像分析技術の活用による選別機の高度化を目指しており、業界内での競争優位性の強化が見込まれる。

具体的な取り組みとして、センサーやタッチパネル、AI・画像解析など最先端技術を活用した高精度かつ高効率な選別ソリューションの開発を進めている。これにより、従来の穀物分野のみならず、水産・食品・菓子業界等、新たな市場への展開も視野に入れており、既に一部でテスト導入や共同開発が進行している。

今後は北海道内にとどまらず、全国さらには異業種への販路拡大を図り、「穀物の松原」から「食の松原」へのブランド力強化も図っていく。

■　**画像分析を用いた形状選別**



出所：松原特殊農機　提供資料

また松原特殊農機では SDGs への対応も今後の重要課題と位置付け、温室効果ガス排出量の可視化をはじめとするサステナブル経営の推進、及び従業員の福利厚生充実といった健康経営にも積極的に取り組む方針である。

総じて、松原特殊農機は「伝統×イノベーション」を経営の軸とし、既存事業の深化と新分野への探索を並行して推進することで、地域農業・食品産業の発展に寄与するとともに、持続的成長が見込まれる。今後も外部環境や市場ニーズの変化に柔軟に対応し、北海道発のものづくり企業として更なる飛躍が期待される。

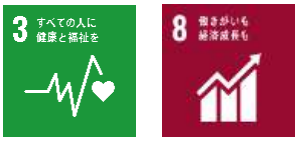
6. サステナビリティ目標

松原特殊農機の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、松原特殊農機の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、松原特殊農機のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**①　人的資本経営の推進** **②　ワークライフバランスの充実**
目　標　・　ＫＰＩ	①　消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ②　育児休暇取得率を、男性で 64%以上、女性 90%以上にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社松原特殊農機
Sustainability Commitment

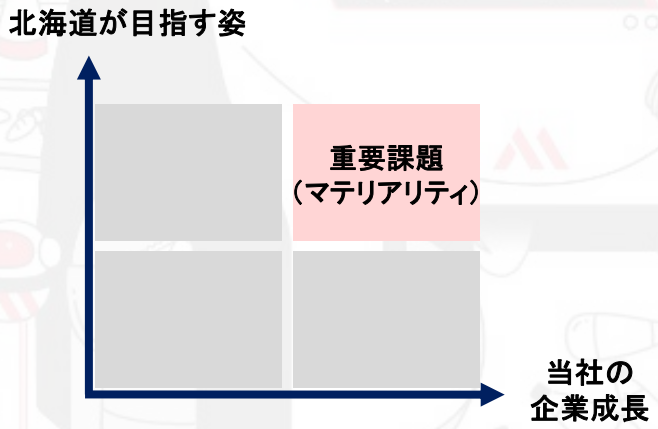
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社室蘭モータース商会

Sustainability Commitment

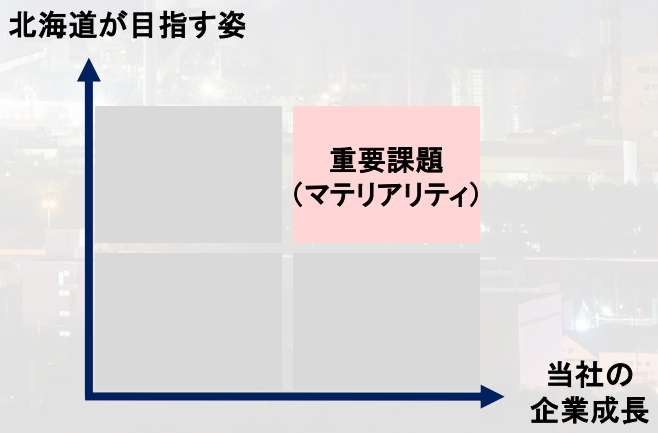
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



合同会社裕晴商事
Sustainability Commitment

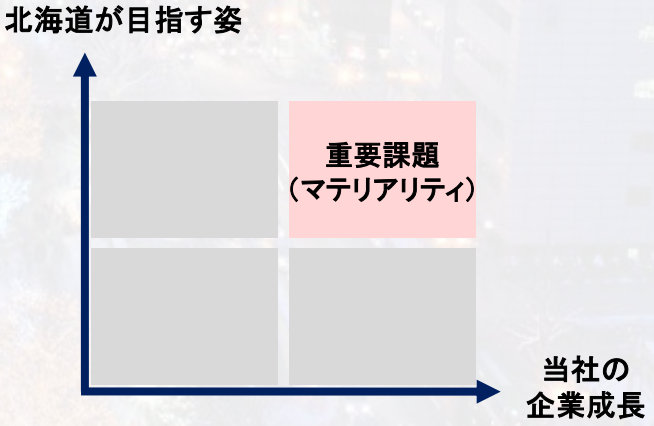
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社リプロ
Sustainability Commitment

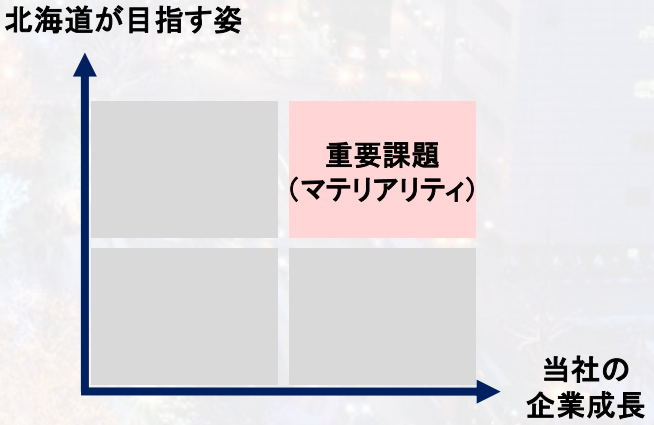
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社ろまん亭

Sustainability Commitment

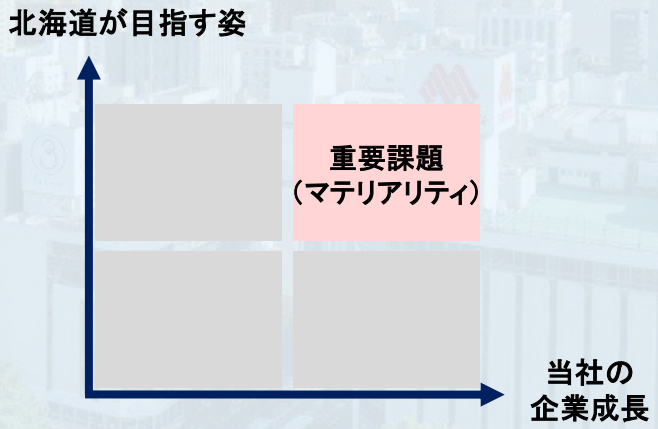
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。
2	ワークライフバランスの充実	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ワコードライセンター
Sustainability Commitment

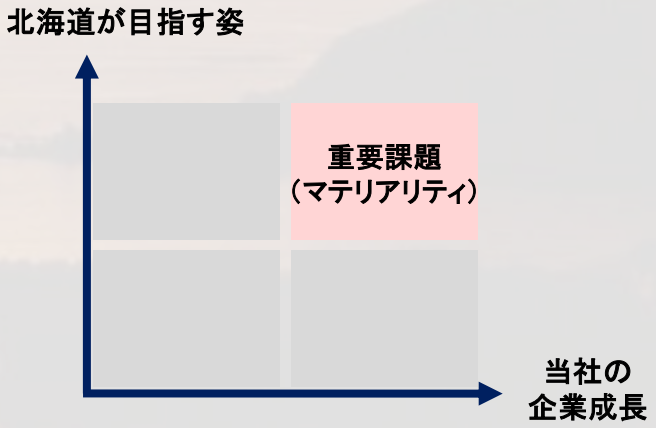
2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社One World Project サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日：2026 年 2 月 5 日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社One World Project	
代表者名	代表取締役　水野 翔太	
所在地	・本社	北海道中川郡幕別町札内みずほ町 143-104
	・一糸と庭 Cafe	北海道中川郡幕別町札内中央町 528-12
	・札幌営業所	北海道札幌市白石区本通 18 丁目北 1-1 2F A-4 号室
	・釧路営業所	北海道釧路市黒金町 14 丁目 9-2 阿部ビル 2F
	・北関東営業所	茨城県水戸市笠原町 1216-30 安倍ハイツ B-102
	・鹿児島営業所	鹿児島県鹿児島市日之出町 2-21 日之出 AP 1F
	・宮崎出張所	宮崎県宮崎市柳丸町 388-10 柳丸コーポ北棟　109 号室
資本金	1,000 万円	
従業員	380 名（2025 年 12 月現在）	
業種	総合ビルメンテナンス事業、飲食事業	
事業内容	・清掃管理業務	
	・設備管理業務	
	・警備業務	
	・飲食業務（カフェ、製菓）	
	・ビジュアルコンサルティング	
沿革	2013 年	株式会社One World Project（資本金 3 百万円）
	2019 年	資本金 8 百万円に増資
	2022 年	一糸と庭 Cafe 開業
	2022 年	資本金 10 百万円に増資

2. 経営理念

経営理念

弊社 One Wolrd Project に関わる全ての人の幸せを追求する。
「ご縁、絆、信頼を抱えて。」
出会ったことへのご縁を大切にし、互いに助け合い絆を深め、信頼される企業、仲間になる。

One World Projectは、代表取締役社長・水野翔太氏が長年描いてきた事業や活動への想いを実現するため、取締役副社長・佐々木智治氏とともに設立された。社名には、「夢を描き邁進し、世界になくてはならない存在となること」、「故郷・十勝を世界に発信し、自らが見てきた世界をこの十勝に創り上げたい」という想い、そして「世界と地域をつなぐ架け橋となる事業を展開する」という理念が込められている。こうした理念のもと、同社の経営の根幹には、取引先ならびに自社スタッフと手を取り合い、相互に成長・発展していくという考え方が据えられている。

3. 事業概要

One World Project は、北海道中川郡幕別町に本社を置く総合ビルメンテナンスおよび飲食事業者である。本社のほか、現在は道内 2 か所、関東 1 か所、九州 2 か所に拠点を展開し、幅広いエリアで事業活動を行っており、顧客ニーズに柔軟に対応する体制を構築するとともに、今後も更なるエリア拡大を目指している。「快適な環境と美味しいを創る、求め続ける！」をスローガンに掲げ、地域社会における快適な生活環境の創出に貢献してきた。

同社の主力である総合ビルメンテナンス事業においては、ホテル・病院・商業施設・ビル・学校等、多様な建物を対象に、安全性と清潔感の維持・向上を重要な責務としている。すべての利用者が安心して施設を利用できるよう、日常的な点検および清掃を徹底し、各業務を強い責任感のもとで管理している。また、適切な清掃・保守管理を継続的に行うことで建物の長寿命化を図り、建替えや廃棄の抑制を通じて環境負荷の低減にも寄与している。

一方、飲食事業においては、カフェ「一糸と庭 Cafe」が、代表取締役・水野氏の「地域に貢献したい」という想いを起点として展開されている。幕別町内では数少ないカフェとして、地域住民の憩いの場となっており、地元に根差した店舗運営により高い支持を得ている。提供するメニューには十勝産の食材を積極的に使用し、地元食品事業者とのコラボレーションによる商品開発を行うなど、地域との連携を深めている。これにより、地域住民の交流機会を創出するとともに、地産地消の推進や食品ロス削減にも配慮した持続可能な事業運営を実践している。

出所：One World Project　提供資料

One World Project は、経営理念に掲げる「弊社 One World Project に関わる全ての人の幸せを追求する。」の通り、取引先は勿論、当社で働く人材を事業運営上の重要な財産と位置付けている。

当社では、社員間の風通しの良さを重視した組織運営を行っており、日常的なコミュニケーションを通じて現場の意見や課題を吸い上げる体制を構築している。また、今後の成長戦略として事業の多角化を積極的に進める方針のもと、社員からの提案やアイデアを事業検討に反映する取り組みを行っている。社員それぞれの関心分野や強みを生かした事業展開を志向することで、組織全体のエンゲージメント向上と新たな収益機会の創出を図っている。

出所：One World Project　提供資料

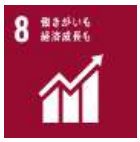
4. サステナビリティ目標

One World Projectの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、One World Projectの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、One World Projectのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

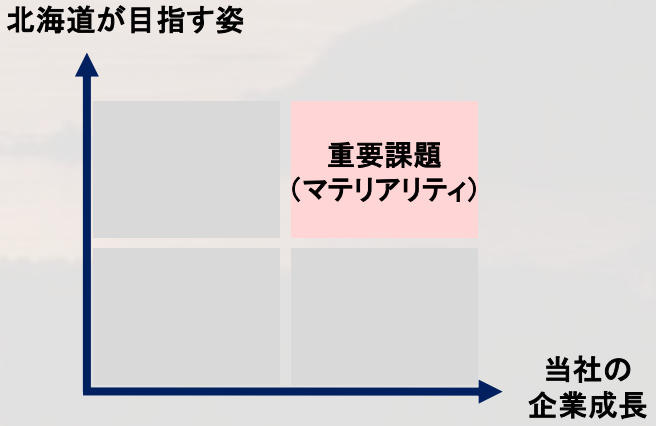
本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社OneWorldProject
Sustainability Commitment

2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。